

人間学の話題 授業運営についての質問フォーラム

今年度は、対面授業による授業運営についての説明ができないため、授業運営、学習の仕方、課題の提出についての質問をこちらで受け付けます。質問しようとする人は、次の点に注意をして、新規スレッドを作成して質問をしてください。

1. 授業概要についてのCLE上の説明、配布資料をよく読んでください。
2. 通り他のスレッドを閲覧し、他のスレッドで同じ質問と回答のやり取りがなされていないか確認してから、新しいスレッドを作成してください。
3. ここではお答えするのは運営面についての質問のみです。授業内容については、予習用の「質問・考察シート」で質問してください。

→フォーラムに入り、左上「スレッドの作成」を押すと、新規投稿を開始することができます。

2020 人間学の話題シラバス

授業の予習と資料の配付について（例年共通）

授業前に授業で扱うテキスト、資料について事前に予習をしておいてください。本授業のための予習は（日本語ネイティブの場合）30分程度で済むはずですが、配布資料については、CLE上でファイル配布します。授業運営上特に重要なものには【重要】、予習用資料には【予習資料】という表示を付加しておきます。【参考資料】とあるものは、適宜参考にして欲しい追加資料です。これは予習は必須ではありません。レポート作成など必要に応じて利用してください。

資料として配布するPDFファイルには著作権への配慮からパスワードをかけているものがあります。ファイルを開くには「資料用パスワード」（PDF）に記載のパスワードを使用してください。

→資料用パスワード

CLE上でのPDFファイルの表示はネット接続環境により時間がかかることがあります（最大3分ほど）。パスワード欄が表示されたらパスワードをコピペで入力すれば、表示されます。

大学の方針と履修者数の状況により、従来行っていた教室における印刷資料の配付を順次廃止してまいります。なるべくCLEによるファイル配布に置き換えてまいります。

教室での授業の際は、自分のPC、タブレット、スマホなどで資料を閲覧することは推奨されます。

【2020コロナウイルス渦対応によるシラバス変更について】

- ①第1回4/21～第2回4/28は、課題による自己学習期間とします（ミニ・レポート提出があります）。受講者は、CLEサイト上にアップロードされる自己学習のための指示や資料を参照して、課題を提出してください。これについての詳しい指示を含め、4/20までにはサイトを整える予定です。もう少しお待ちください。
- ②第3回5/12（火）4限よりメディア授業を開始します。Zoomによる同期型オンライン授業を予定しています。受講者は4月中にはZoomによる講義が視聴できるようアプリのインストールなど準備を整えてください。4/28（火）4限に接続テストの機会を設けるかもしれません。CLE上で告知します。
- ③ただし教員・学生双方の環境確保ができずオンライン配信に無理がありそうな場合は、教科書を読んでレポートを書くという形式に変更する可能性があります。なお対面授業が可能な状況となった場合は対面授業に復帰します。
- ④本年度は6月以降ゲスト講師の招聘を予定していましたが、実施は状況次第となります。
- ⑤常に状況に応じた変更がありうることを、あらかじめご了承下さい。

テキスト情報

下記二つのテキストを授業で使いますので、受講生は入手してください。特に【テキスト1】は、自己学習によるミニ・レポート作成に必要となります。

【テキスト1】永井均『マンガは哲学する』岩波現代文庫、2009年、1,012頁、254頁

【テキスト2】野尻英一・高瀬浩吉・松本卓也編『「自閉症学」のすすめ：オートイズム・スタディーズの時代』ミネルヴァ書房、2019年、2,200円、392頁

【4/20修正と追記】

テキストについては著作権への配慮により、受講生自身により入手していただくことが原則です。ただし【テキスト1】『マンガは哲学する』については、以下の諸状況を総合的に考慮し、今年度における緊急的措置として、授業および自己学習課題で使用する一部分、すなわち第1章、第6章、第7章に限り、パスワード付きファイルで配布することを決定しました。

- (1) 著作権法改正の前倒しが発覚されました。
- (2) コロナウイルス渦により学生は大学生協および図書館に行くことができません。
- (3) 当該図書館がネット書店などで新品が入手しにくくなっている状況があります。

なお【テキスト2】『「自閉症学」のすすめ』については、上記（2）を除いて該当しないため、ファイル等での配布はできません。ご了承下さい。

【重要】第1回・第2回 自己学習によるレポート作成の手順

- 添付ファイル：
 【予習資料】マンガは哲学する_まえがき_第1章_パスワード.pdf (5.058 MB)
 【予習資料】マンガは哲学する_第6章_第7章_パスワード.pdf (7.395 MB)
 【参考資料】自閉症学のすすめ_チラシ.pdf (1.259 MB)
 資料用パスワード.pdf (8.137 KB)
 【重要】2020_人間学の話題_第1回資料_授業概要_コロナ対応版_改.pdf (487.764 KB)

コロナ渦対応のため、第1回（4/21）、第2回（4/28）の期間は自己学習方式とします。

以下の手順に従って自己学習を進め、課題（ミニ・レポート）を提出してください。

【ステップ1】授業概要を説明した「【重要】2020_人間学の話題_第1回資料_授業概要_コロナ対応版」（PDF）をよく読んでください。授業スケジュール、レポート作成要領、レポートの書き方、〆切などについて説明しています。例年、概要説明は対面授業で行なっているものですが、今年度は資料配付によりまして、30分程の時間をかけて熟読し、理解に努めてください。

【ステップ2】上記授業概要プリントに記載された要領に従って、テキストを読み、ミニ・レポートを作成してください。

【参考資料】第1回～第5回授業用資料

第1回から第5回の授業で使用するテキスト『マンガは哲学する』に関連した資料を取っています。

特に自己学習期間におけるミニ・レポート作成時の参考にしてください。

5/5 ミニ・レポート（改）

【ミニレポート作成・提出の仕方】

配布資料『2020_人間学の話題_第1回資料_授業概要_コロナ対応版』（PDF）をよく読み、下記の指示に従って、レポートを作成・提出してください。4/29に改訂し、提出方法に修正がありました。赤字箇所です。

6. ミニレポート（成績評価配分20%）

- 1回目、2回目の自己学習期間にミニレポートを作成して提出していただきます。提出にはCLEを使用します。100点満点とし、総合成績には20%換算で組み込まれます。
- 〆切は、5/5（火）23:59です。

c. 課題は「テキスト『マンガは哲学する』第一章、第六章、第七章のうち一つを選んで読み、自分なりの具体例を挙げながら、論じてください」です。具体例は自験例（自己の体験）、文学、映画、マンガ、アニメ、音楽など何でも可です。

d. レポート作成にあたっては、CLE上で配布する資料も参考にしてください。『マンガは哲学する』で扱われているマンガ作品に関する資料などもあります。

e. 字数は400字以上2000字以内程度を目安とします（上限はありません。書きたいだけ書いてもよいです。ただし評価は分量ではなく内容で行います。）

f. レポート提出は、Wordファイル（.docもしくは.docx）の添付により行なってください。レポート提出は、記述欄に直接テキストを記入する方式とします。おすめは、**まずWordなどでレポートを作成し、完成したらコピー&ペーストで記述欄に記入し提出する方法**です。記述欄上でレポートを作成を行いますと、タイムアウトなどにより途中でデータが失われることもありますので、ご注意下さい。

g. 本文冒頭に内容を表した「タイトル」と、「氏名」、「学籍番号」を書いてください。できたら末尾に総字数（Word字数カウント機能などを使用）を添えてくれると助かります。

h. 適宜段落替えを行ってください。読みやすい構成も評価の対象となります。

i. 引用した文言や情報は引用範囲を「」などで明示し「出典」を明記してください。（出典が明記されずに引用がなされている場合、「剽窃」と判断することがあるので注意してください。）

j. 評価基準は期末レポートに準じます（7.の「h. 評価基準」を参照してください）。評価のポイントは、承（講義・テキスト理解力）、転（発想・話題提供力）、結（論理構成力）となります。特に自分なりの具体例を出して考察しているかどうか重要です。『8. レポートの書き方』を参考にしてください。

k. 【2020年度限定ミニ・レポートアドバイス】レポート作成によりいわゆるエッセイ・ライティング（小論考の作成）をトレーニングします。この授業のレポートでは、発想力、プレゼンテーション力、論理構成力を評価します。単に授業の内容をまとめただけでは、この授業の基準では承・転・結の「承」しか満たしていないこととなります。テキストの話題について、自分なりに面白い事例を接続し、**論考を展開する力**を発揮してください。読み手に新しい視点、情報、感動を伝えることができるレポートが高評価となります。

【評価基準】

A (80～)	Bに加え、全体の構成や文章がよく練られている、発想や結論に高度な独自性がみられる、全体力がある、など。クラス全体に紹介する価値があるもの。
B (70・75)	Cに加え、具体例の引き方、論議の展開に説得力がある、発想や結論の構成に独自性がみられる、自分の目で考えている印象がある、何か一つ目を引くものがある、など。
C (60・65)	課題内容についての理解が深され、自分なりの具体例やデータなど「自分なりの見点を示す」事例をひまながら論議を構成している。（ただし論議の構成や事例の引き方につめが強い、説得力に欠ける、ありきたりな論である、など）。
D (～50)	授業や課題についてのたんなる感想や意見である、たんなる決意表明に終わっている、課題内容をまとめただけである、具体例がない、具体例は出ているが生きていない（その具体例である意味がない）、筋の通った論になっていない、など。
E (0)	未提出、授業に対するレポートとはみさせない、剽窃である、もしくは剽窃が含まれている、など。

人間学の話題Zoomリンク

有効：統計情報の取得

オンライン授業のためのZoomミーティングのスケジュールとリンクです。

トピック: 2020人間学の話題

毎週火曜

2020年4月28日 02:40 PM

2020年5月12日 12:00 PM →この日はZoomでの初回授業のため、入室を試せるよう12:00から開室しております。「アカウント取得」と「ホストの許可」はいずれも不要の設定となりました。4/28接続テストの際に入室に失敗した人は、早めに来て入室を試してください。不具合があればすぐにサイトトップの「人間学の話題 授業運営についての質問フォーラム」に書き込んでください。TAがチェックして応答できるようにしております。

2020年5月19日 02:40 PM

2020年5月26日 02:40 PM

2020年6月2日 02:40 PM

2020年6月9日 02:40 PM

2020年6月16日 02:40 PM

2020年6月23日 02:40 PM

2020年6月30日 02:40 PM

2020年7月7日 02:40 PM

2020年7月14日 02:40 PM

2020年7月21日 02:40 PM

2020年7月28日 02:40 PM

Zoomミーティングに参加する

<https://zoom.us/j/98560997847>

ミーティングID: 985 6099 7847

パスワード: 014421

【接続の仕方】

上記URLをクリックするだけで、Zoomアプリをインストールしなくても基本的にはブラウザにより接続できます。ただしアプリのインストールをしていないほうがよりトラブルなく接続できますので、なるべく事前にインストールしておくことをお勧めします。なお私の個人的な経験の範囲で、Microsoft Surface のEdgeブラウザーはZoom利用の際に音が聞こえないなどのトラブルが出ます。FirefoxかChromeが良いようです。

【参考】

「Zoomミーティングに参加する手順をどこよりもわかりやすく解説しました」

<https://makefile.jp/work/7922/>

なおZoomアカウントの取得は必須ではありませんが、アカウントを持っていない人は氏名が表示されない仕様のため、この授業では基本的に取得をお願いしています。お手数がかかりますが、授業環境維持のためご協力をお願いします。

「Zoomアカウントの作成手順」

<https://zoomy.info/manuals/account/>

※上記ミーティングURL、ID、パスワードについては、クラス外に再配布することを禁止とします。授業環境の維持のため、取り扱いにご注意下さい。

※本授業のZoomによる授業のためには、安定したネット回線接続が必要です。Youtubeが安定して見られる環境ならば大丈夫かと思われれます。大阪大学は、十分なネット接続環境が確保できない学生のためにモバイルWiFiルーターを貸し出す方針を発表しました。すでにKOANで掲示されているので、周知のことと思います。自宅に常時接続のネット環境がない、携帯電話回線のみでの接続である、公共もしくは飲食店などのフリーのWiFiスポットに頼っている、などの人は該当するかどうかの確認をお願いします。

「Zoomアカウントの作成手順」

※上記ミーティングURL、ID、パスワードについては、クラス外に再配布することを禁止とします。授業環境の維持のため、取り扱いにご注意下さい。

※本授業のZoomによる授業のためには、安定したネット回線接続が必要です。Youtubeが安定して見られる環境ならば大丈夫かと思われれます。大阪大学は、十分なネット接続環境が確保できない学生のためにモバイルWiFiルーターを貸し出す方針を発表しました。すでにKOANで掲示されているので、周知のことと思います。自宅に常時接続のネット環境がない、携帯電話回線のみでの接続である、公共もしくは飲食店などのフリーのWiFiスポットに頼っている、などの人は該当するかどうかの確認をお願いします。

「Zoomアカウントの作成手順」

※上記ミーティングURL、ID、パスワードについては、クラス外に再配布することを禁止とします。授業環境の維持のため、取り扱いにご注意下さい。

4/28 Zoom授業接続テスト&書き込みテスト

利用可否の設定：この項目は学生に表示されません。

4/28（火）4限（14:40～）にZoom授業の試行を行います。

学生のみならずと一緒に、Zoomでの授業の円滑な進めと予習シートの書き込みテストをやってみようと思います。

これより今後のZoomでの授業を円滑に進めることを意図しています。

正規の授業ではありませんが、なるべく多くの学生に参加してもらいたいと思っています。

授業運営全般についての質問を受け付ける時間も設けようと思っています。

お気軽にご参加下さい。

参加者は、上記に示したZoomリンク（↑）より、上記開始時間にミーティングに入ってください。

入室には講師による承認が必要な設定としていますので、タイミングにより入室まで少しお待ちいただく場合があります。

5/11 第3回授業用 質問・考察シート

利用可否の設定：この項目は学生に表示されません。

第3回授業用の「質問・考察シート」です。

第3回授業の予習箇所は、「マンガは哲学する」のまえがきおよび第一章「意味と無意味」になります。予習を行い質問があれば記入して下さい。感想や考察を記入することもできます。授業で教員が応答します。

良い質問（or感想、考察）には、ボーナスポイント（1～3点）を付けることがあります。ボーナスポイントはそのまま総合成績に加算されます。

質問シートへの書き込みは、前日の月曜日20:00が〆切です。

5/12 第3回「意味と無意味」（『マンガは哲学する』第一章より）

有効：統計情報の取得

添付ファイル：
 2020ミニレポート抜粋_v2.pdf (680.66 KB)

授業用資料アップ

【1】「2020ミニレポート抜粋_v1」（PDF）を添付します↑。上位成績のレポートを抜粋したものと講師のコメントが収録されています。授業で用います。

【2】第3回質問・考察シート一覧（←外部リンクで開きます。）みなさんからの質問・考察の一覧です。授業で用います。

【3】メディア素材（見ておいてください。）

フランスス・ローレンス監督、ウィル・スミス主演『アイ・アム・レジェンド』（2007）
 『アイ・アム・レジェンド』（I Am Legend）（I Am Legend）は、2007年に製作された、ワーナー・ブラザース配給のSF映画である。
 リチャード・マシンの小説『I Am Legend』（日本語版は映画化に合わせて『地球最後の男』から『アイ・アム・レジェンド』に改題された）の3度目の映画化作品。2007年12月14日、日米同時公開された。日本での興行収入は43億円[2]。（Wikipedia「アイ・アム・レジェンド」）

『アイ・アム・レジェンド予告編』（Youtube）（日本語字幕付き、ただし低解像度）
 『I Am Legend (2007) Official Trailer』（Youtube）（高解像度、ただし日本語字幕なし）

5/18 第4回授業用 質問・考察シート

第4回授業用の「質問・考察シート」です。

第4回授業の予習箇所は、テキスト『マンガは哲学する』の第六章「人生の意味について」になります。

予習を行い質問があれば記入して下さい。感想や考察を記入することもできます。授業で教員が応答します。

良い質問（or感想、考察）には、ボーナスポイント（1～3点）を付けることがあります。ボーナスポイントはそのまま総合成績に加算されます。

質問シートへの書き込みは、前日の月曜日20:00が〆切です。

5/19 第4回「人生の意味について」（『マンガは哲学する』第六章より）

有効：統計情報の取得

添付ファイル：
 資料用パスワード.pdf (8.137 KB)
 【授業用資料】人間学の話題_第4回配布資料_パスワード.pdf (49.495 MB)
 ホワイトボード図.jpeg (425.479 KB)

up! 第4回質問・考察シート一覧